

石狩市第4期障がい者計画策定のための アンケート調査結果報告書 【18歳以上】

目次

1 調査の概要	
(1) 調査の目的	1
(2) 調査方法・実施期間	1
(3) 調査の対象・配布数	1
2 障がいのある方ご本人の状況について	
(1) 年齢について	2
(2) 所有する手帳について	3
(3) 日中活動の場について	5
3 各分野についてのご意見	
(1) 安全・安心について	6
(2) 生活支援について	10
(3) 社会参加について	18
(4) 理解の促進・差別の解消について	22
(5) 相談・情報の入手について	25
(6) 障がい者施策全般について	31

令和2年12月

石狩市

1 調査の概要

(1) 調査の目的

このアンケート調査は、石狩市の障がい者施策の基本的な計画である「石狩市第4期障がい者計画」を策定するにあたり、障害者手帳所持者の実情やニーズを把握し、新しい計画に反映させることを目的に実施しました。

(2) 調査方法・実施期間

- 配布方法 … 郵送
- 回収方法 … 郵送、Web
- 実施期間 … 令和2年8月20日～9月10日

(3) 調査の対象・配布数

調査対象者	身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれかを所持する18歳以上の者		
配布数	3,332人 ※うち重複所持者69人		
	身体	療育	精神
	2,674人	302人	425人
回収数	1,336人		
回収率	40.1%		

※ 石狩市における「障害」にかかる「がい」の字の表記について

法令で定められている場合や固有名詞を除き、一般的に使用する場合は、「障がい」「障がい者」と表記することとしています。

2 障がいのある方ご本人の状況について

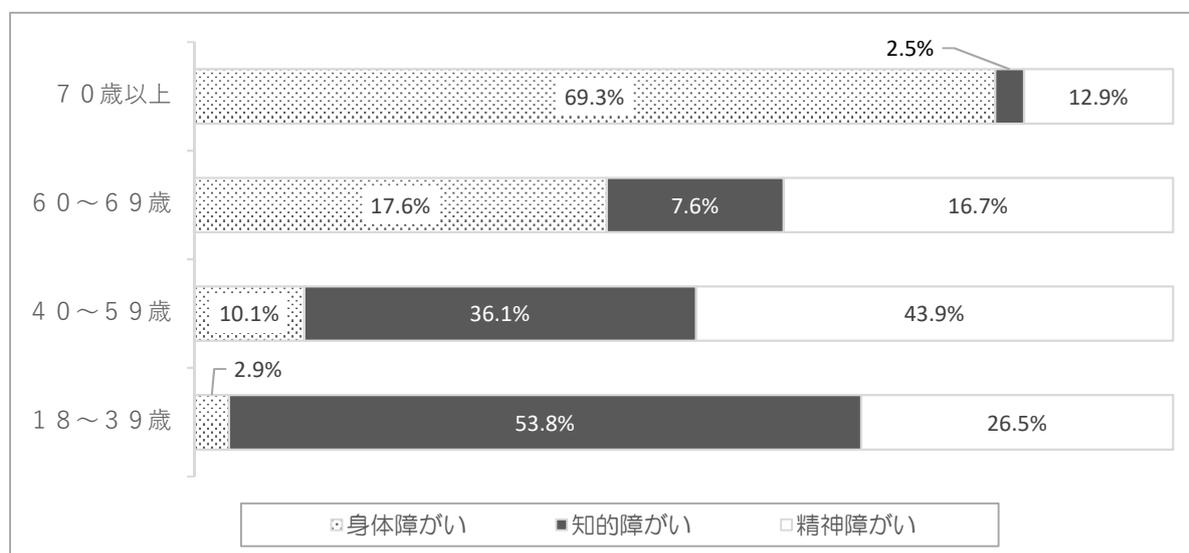
(1) 年齢について

年齢別に障がいの割合を見ると、身体障がいのある人は70歳以上、知的障がいのある人は18～39歳、精神障がいのある人は40～59歳が最も高くなっています。

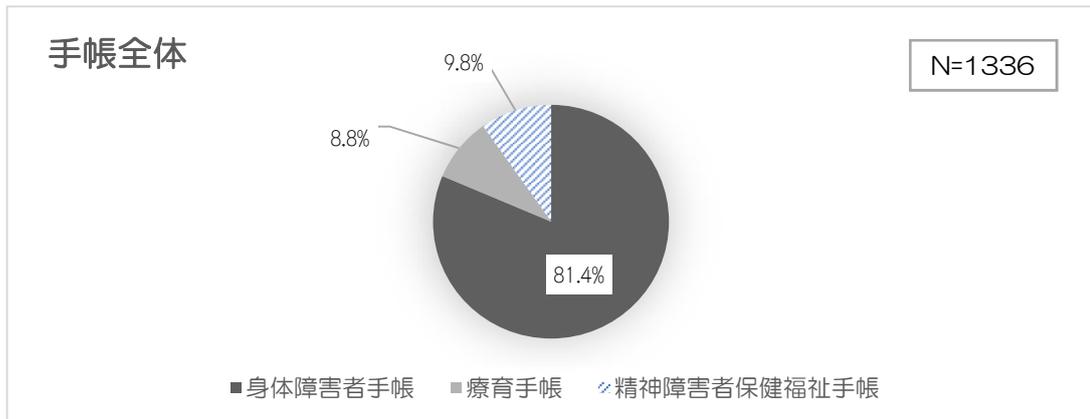
18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	無回答
1.0%	3.4%	5.5%	8.5%	7.2%	16.4%	29.5%	27.8%	0.7%

(単位:人)

	18～39歳	40～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	計
身体障がい	32	110	192	754	8	1,096
知的障がい	64	43	9	3	0	119
精神障がい	35	58	22	17	0	132
無回答	4	3	0	6	2	15
計	135	214	223	780	10	1,362



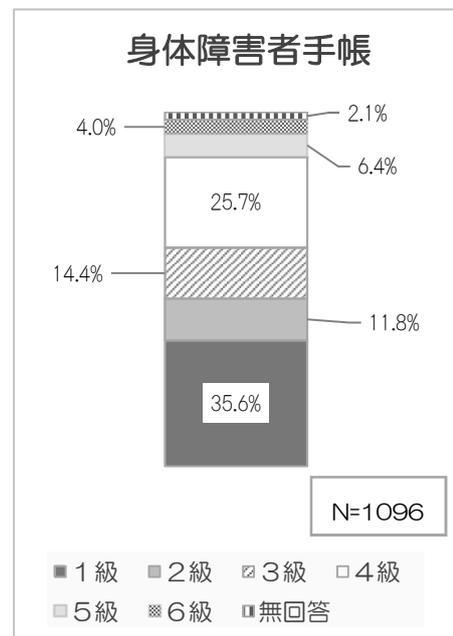
(2) 所有する手帳について



① 身体障害者手帳所持者の障がい等級

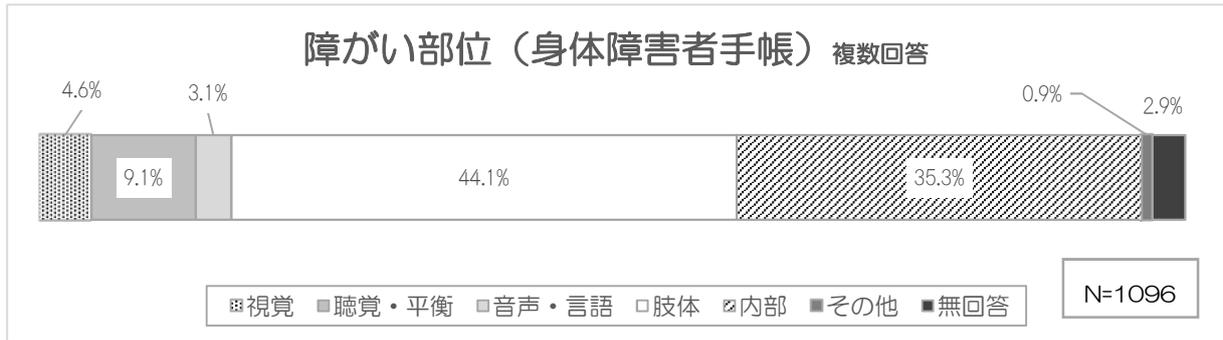
身体障害者手帳所持者1,096人のうち、割合では1級が35.6%と最も多く、次いで4級が25.7%となった。

障がい部位別に見ると、1級では内部に障がいがある人、2～6級では肢体に障がいがある人が多くなっている。



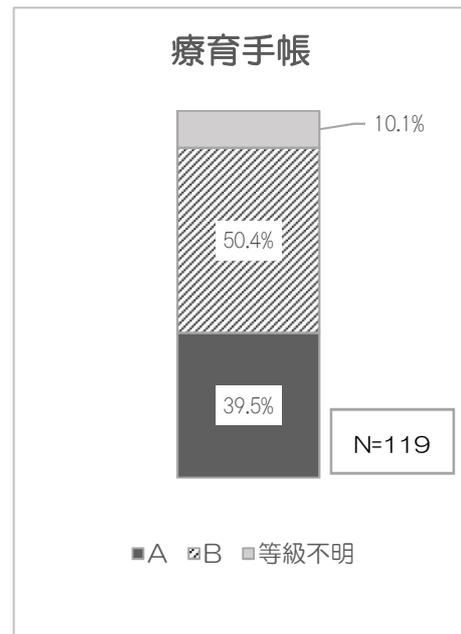
(単位:人)

身体障がい		1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答	計
		390	129	158	282	70	44	23	1,096
障がい部位(複数回答)	視覚	21	17	2	6	7	3	1	57
	聴覚・平衡	14	20	13	37	2	22	3	111
	音声・言語	13	6	12	6	1	0	0	38
	肢体	91	87	101	175	60	17	8	539
	内部	303	13	43	61	3	0	9	432
	その他	4	1	2	1	1	0	2	11
	無回答	9	5	4	11	0	3	3	35



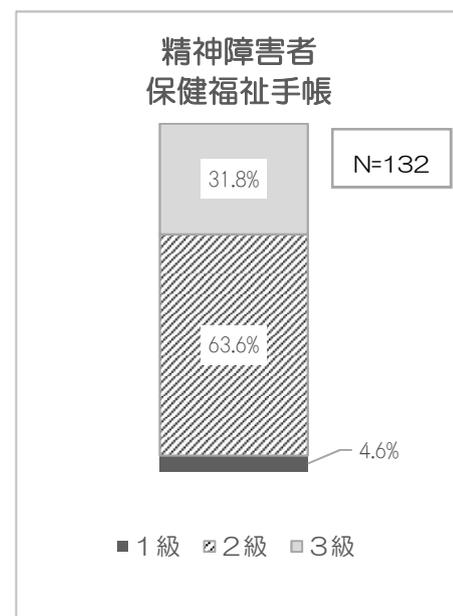
② 療育手帳所持者の障がい等級

療育手帳所持者119人のうち、
A(最重度・重度)が47人で39.5%、
B(中度・軽度)が60人で50.4%、
無回答(程度不明)が12人で10.1%だった。

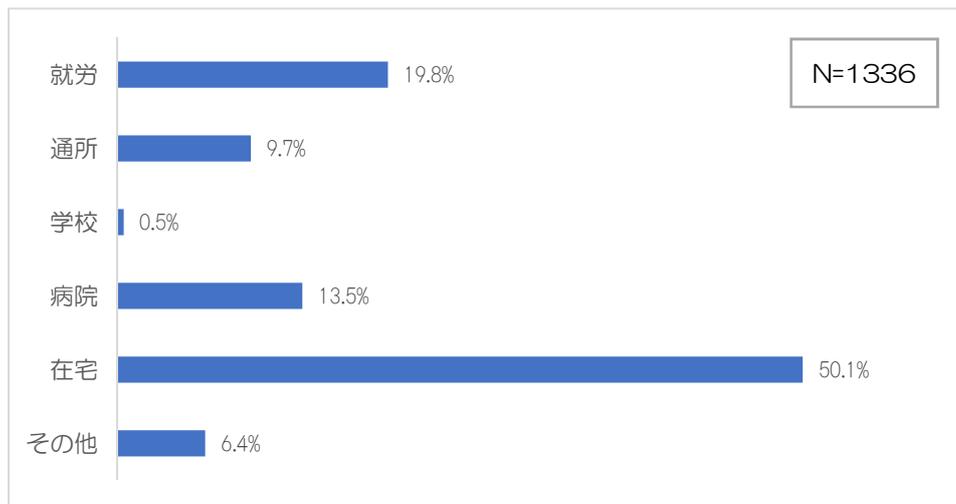


③ 精神障害者保健福祉手帳所持者の障がい等級

精神障害者保健福祉手帳所持者
132人のうち、1級が6人で4.6%、
2級が84人で63.6%、3級が42人で
31.8%だった。



(3) 日中活動の場について



(単位:人)

	就労	通所	学校	病院	在宅	その他
18～39歳	77	23	1	9	37	4
40～59歳	101	14	1	35	79	14
60～69歳	63	12	2	33	135	6
70歳以上	57	98	3	127	504	73
計	298	147	7	204	755	97

- 日中活動の場は、「在宅」の割合が過半数と高くなっている。次いで、一般就労及び福祉的就労である「就労」の割合が高くなっている。
- 年齢別にみると、60歳以上は「在宅」の割合が高くなっている。

【その他の主な回答】

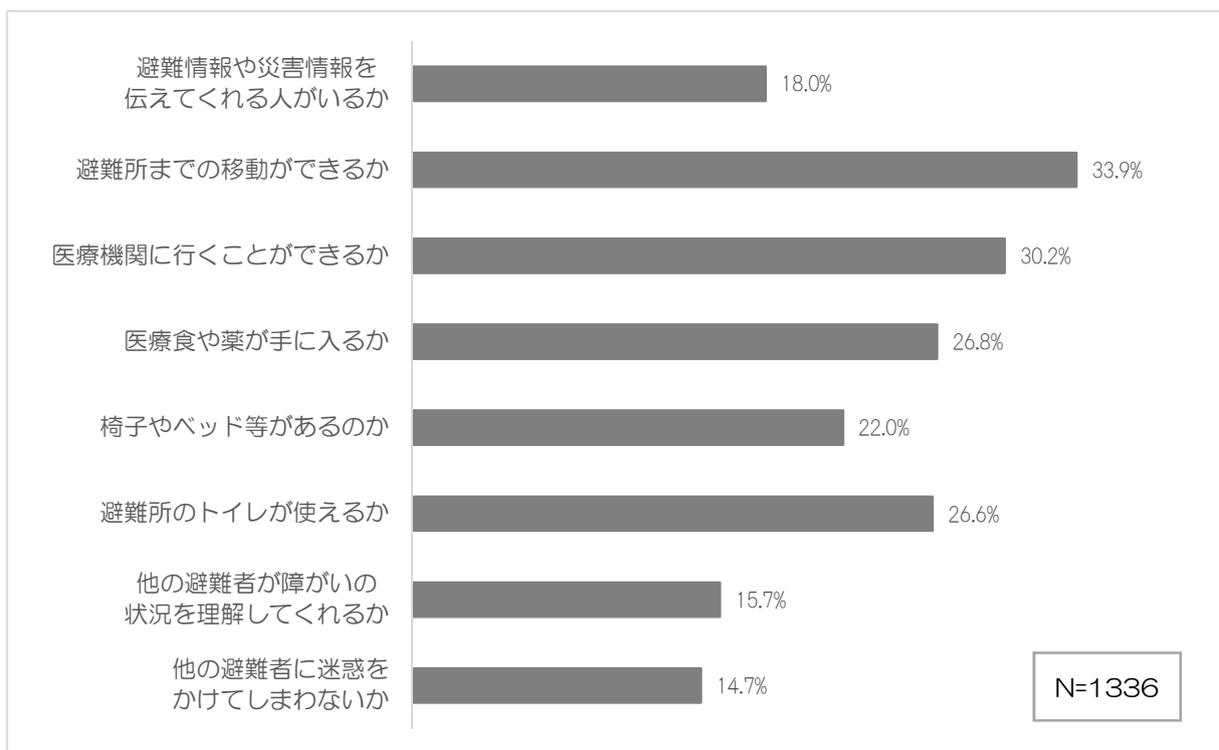
- 高齢者施設(特別養護老人ホーム、ケアハウス、サービス付高齢者住宅など)に入所
- 介護サービス(デイサービス、デイケアなど)を利用
- 休職中
- 就職活動中
- 町内会などの地域活動
- 趣味・ボランティア

3 各分野についてのご意見

(1) 安全・安心について

地震や台風などの自然災害が発生した時や避難所での生活で不安に思うことは何ですか？(複数回答)

※上位のみ掲載



○ 「避難所までの移動ができるか」、「医療機関に行くことができるか」、「医療食や薬が手に入るか」、「避難所のトイレが使えるか」の順に、回答した割合が高くなっている。

【その他のご意見】

- 普段とは異なった環境である避難所でのストレスケアを心配している。
- プライバシーはどこまで配慮されるか。
- 自分が我慢できるか。
- 新型コロナウイルスなどの集団感染。

手帳別(複数回答)	身体	療育	精神
避難情報や災害情報を伝えてくれる人がいるか	16.8%	19.3%	25.0%
避難所までの移動ができるか	36.7%	23.5%	17.4%
医療機関に行くことができるか	30.8%	16.0%	37.9%
医療機器の充電や管理ができるか	5.1%	4.2%	3.0%
医療食や薬が手に入るか	25.5%	16.8%	50.8%
椅子やベッド等があるのか	25.3%	3.4%	6.1%
避難所のトイレが使えるか	29.8%	11.8%	12.9%
介助者や介護者はいるか	9.2%	9.2%	3.0%
手話通訳や要約筆記がなければ情報がわからない	2.3%	1.7%	1.5%
他の避難者が障がいの状況を理解してくれるか	12.6%	33.6%	26.5%
他の避難者に迷惑をかけてしまわないか	12.4%	26.9%	22.0%
特にない	14.3%	21.0%	7.6%
わからない	5.3%	13.4%	7.6%
その他	3.8%	7.6%	5.3%

- 身体障害者手帳所持者では、「避難所までの移動ができるか」と回答した割合が最も高くなっている。
- 療育手帳所持者では、「他の避難者が障がいの状況を理解してくれるか」と回答した割合が最も高くなっている。
- 精神障害者保健福祉手帳所持者では、「医療食や薬が手に入るか」と回答した割合が最も高くなっている。

身体障がい(障がい部位)複数回答	視覚	聴覚・平衡	音声・言語	肢体	内部
避難情報や災害情報を伝えてくれる人がいるか	22.8%	32.4%	10.5%	14.3%	15.5%
避難所までの移動ができるか	49.1%	31.5%	57.9%	43.4%	33.3%
医療機関に行くことができるか	29.8%	26.1%	23.7%	25.4%	38.9%
医療機器の充電や管理ができるか	7.0%	6.3%	5.3%	2.8%	8.6%
医療食や薬が手に入るか	40.4%	20.7%	26.3%	23.7%	29.2%
椅子やベッド等があるのか	22.8%	22.5%	28.9%	37.1%	16.9%
避難所のトイレが使えるか	28.1%	19.8%	21.1%	38.4%	22.9%
介助者や介護者はいるか	15.8%	11.7%	23.7%	10.0%	7.6%
手話通訳や要約筆記がなければ情報がわからない	1.8%	18.9%	2.6%	0.4%	0.5%
他の避難者が障がいの状況を理解してくれるか	19.3%	20.7%	7.9%	10.2%	13.0%
他の避難者に迷惑をかけてしまわないか	15.8%	14.4%	7.9%	10.9%	14.1%
特にない	10.5%	15.3%	13.2%	12.4%	14.6%
わからない	7.0%	5.4%	7.9%	4.6%	4.9%
その他	5.3%	4.5%	7.9%	4.5%	4.4%

- 視覚障がい、音声・言語障がい、肢体不自由のある身体障害者手帳所持者では、「避難所までの移動ができるか」と回答した割合が最も高くなっている。
- 聴覚・平衡障がいのある身体障害者手帳所持者では、「避難情報や災害情報を伝えてくれる人がいるか」、「避難所までの移動ができるか」と回答した割合が最も高くなっている。
- 内部障がいのある身体障害者手帳所持者では、「医療機関に行くことができるか」と回答した割合が最も高くなっている。

平成30年9月6日の「北海道胆振東部地震」の際、大規模停電(ブラックアウト)が発生しましたが、障がいがあることが理由で困った経験がありましたか？

【主な回答】

■医療面での困りごと

- 就寝時、CPAP(在宅持続陽圧呼吸療法装置)を使用しているが、電源を取ることができず、十分な睡眠をとることができなかった。
- 酸素吸入ができず入院した。
- 医療機器の充電ができなくなった(人工内耳、吸入器、たん吸引器など)。
- 人工透析に関すること(透析日の変更、病院の変更、医療機関までの手段など)。
- 停電で手元が見えず困った(自己導尿、ストーマ交換、夜盲症など)。
- 医薬品の調達ができなくなった。
- 電動ベッドが動かなくなり困った。

■精神面での困りごと

- 普段とは異なる環境になったことへの不安やストレスがあった。
- 日常と違うことに順応しづらく、報道が恐怖を掻き立てるので目にしないよう、耳にしないようにするのが苦痛だった。
- 過敏になっているため、少しの音や(なれない)ゆれに発作を起こした。
- 明かりがなく精神的に不安になった。
- 再度大きな地震が発生したときに精神障がいのうつ病とパニック障がいの症状が起こらないか不安感がひどく日常生活を送ることが大変だった。
- なぜ停電が起きているのかなどの状況が理解できず、パニックになり大変だった。

■生活面での困りごと

- 携帯電話の充電ができなかった。
- 情報が入ってこなかった。

- 安否確認をしてくれる人が必要と思った。
- 情報が全く入ってこなかったが手話通訳の人が来てくれた。
- 広報車が町内を回っていたようだが、何も聞こえず情報不足で終わったので、スピーカーの音量や速度など、工夫をお願いしたい。
- 障がいをあまり表沙汰にしたくない気持ちの方が強いので自力で乗り越えた。
- 断水が解消されても直後は赤水で飲用できないが、視覚障がい者は確認することができない。

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、障がいがあることが理由で困った経験がありますか？

【主な回答】

- 既往症があり感染すると命に関わるので心配。
- 免疫疾患のため常に不安がある。
- 感染することに対する不安が強く、4月と5月は家から出られなかった。
- 精神的に不安定になる。
- 外出時にはマスクが必要だが自力で着脱ができない。
- 団体の活動が休止したので情報交換が足りなかった。
- 通院時に感染するのではないかと心配。
- 受診の予約が取りにくくなった。
- 入所施設での家族との面会ができなくなった。
- 感染の不安がありサービス利用を控えてしまう。
- 感覚障がいでもマスクをするのが苦痛なのに、マスクをするのを強要される。
- 通院などで公共交通機関を利用するのが怖い。
- 透析のために通院しているがマスクがなくて困った。
- 日常と違う状況、終わりが見えないこと、何が危険かはっきりしないことなどすべてに困っている。
- マスク姿の人が怖いし自分もつけたくないし消毒であふれている場も怖くて辛い。
- マスクをしていると会話が聞き取れない、聞き取りにくい。
- マスクを着けていると口話ができず、外出先での会話が困難でした。
- 耳が聞こえないので情報が入らなく不安。
- コロナに感染し、入院となると手話通訳派遣されないので困る。
- 肺疾患があるため、外出は避け、ほとんど自宅にいる毎日です。
- 週3回デイサービスで通所していたが、不安で2か月程休んだ。

(2) 生活支援について

あなたが利用している障害福祉サービスは何ですか？(複数回答)

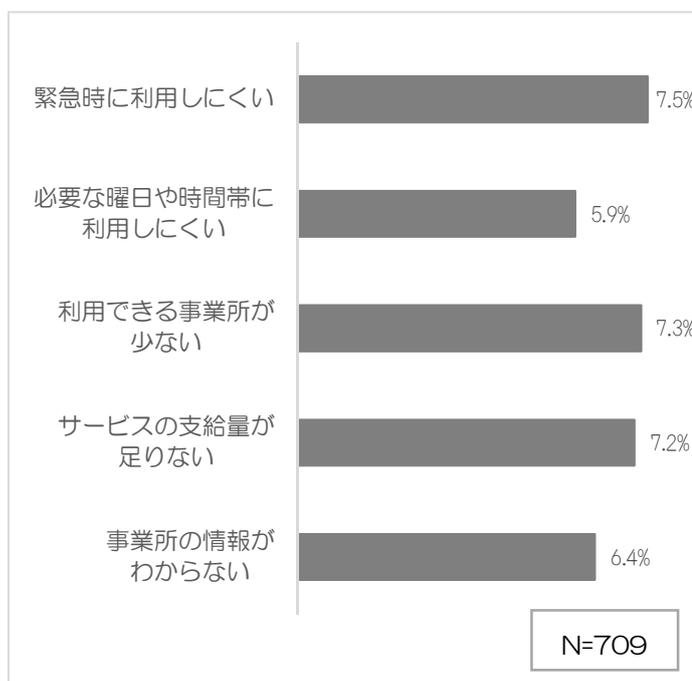
※上位のみ掲載

項目	回答割合
利用したことがない	47.0%
補装具・日常生活用具の給付	10.5%
地域活動支援センター	6.7%
生活介護	6.6%
相談支援・計画相談	6.1%

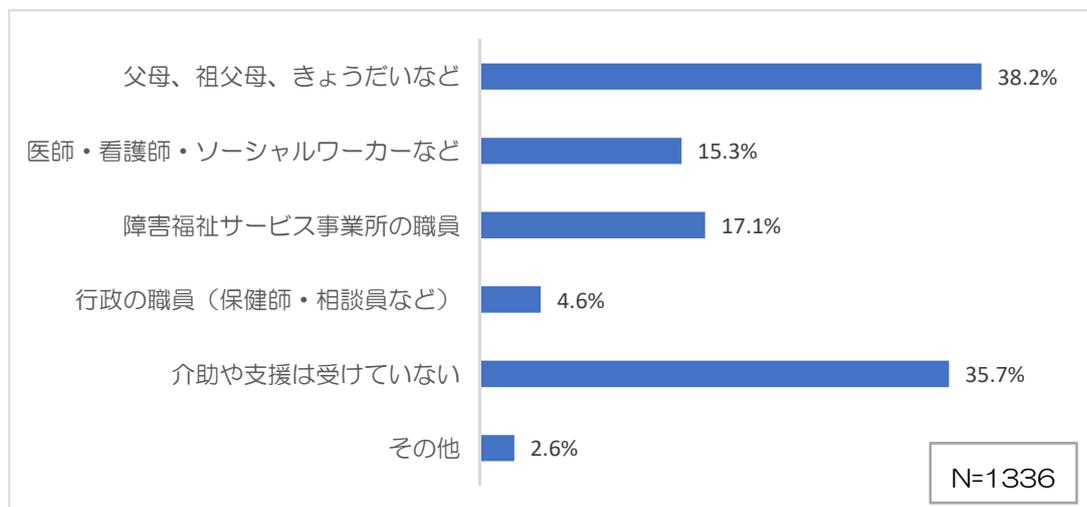
- およそ半数が障害福祉サービスを「利用したことがない」と回答しており、中でも身体障がいのある人の割合が高くなっている。
- 知的障がいのある人のおよそ9割が就労移行支援や就労継続支援、生活介護、地域活動支援センターなどの日中活動系サービスを利用していると回答した。

■サービスを受けるときに困っていること

- 障害福祉サービスを利用したことがある人のうち半数が「困りごとはない」と回答している。
- 困りごとのある人のうち、緊急時や必要な時に利用しにくいと回答した割合が最も高くなっている。
- その他の回答では、サービスの質が悪いとの意見もあった。



あなたを介助、支援をしている人はどなたですか？(複数回答)

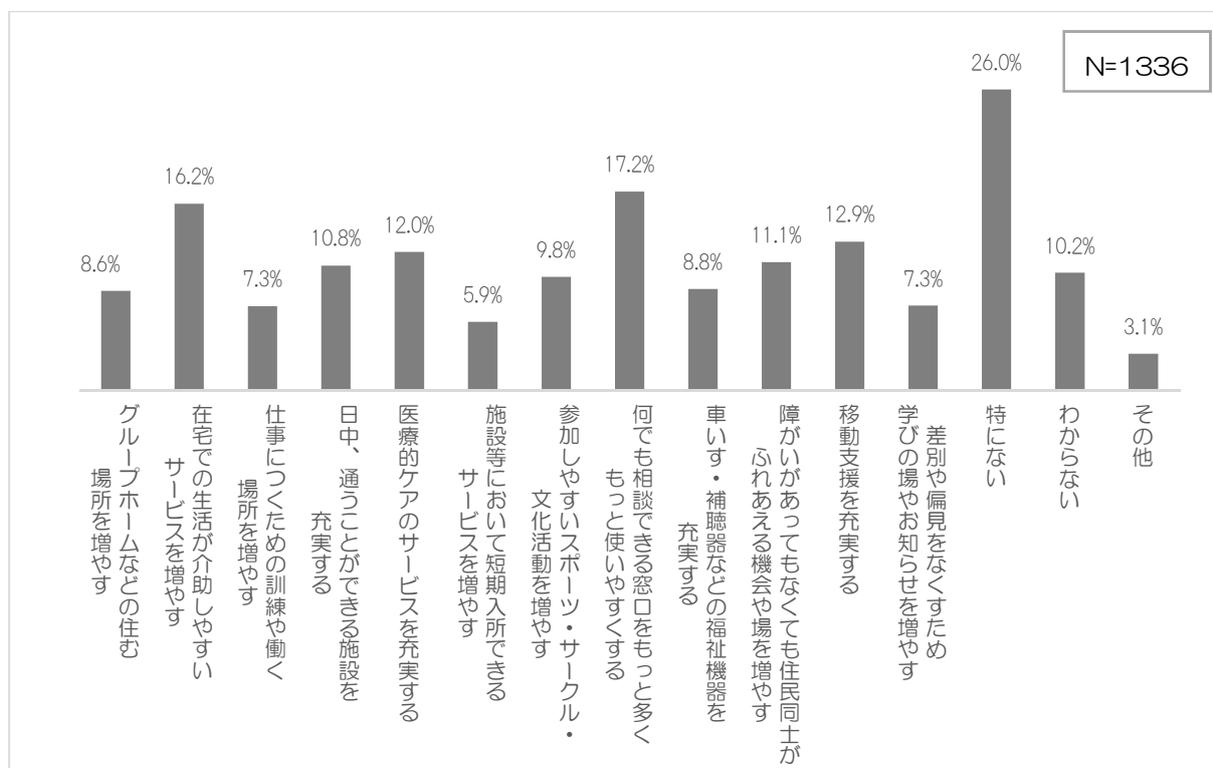


○ 父母、祖父母、きょうだいなどの親族の割合が高い一方で、介助や支援を受けず生活している人も多い傾向にあった。

【その他の介助、支援をしている人】

- 介護保険サービス事業所の職員
- 近所の方
- 友人
- 弁護士
- シルバー人材センター

あなたがよりよく暮らすためには、どのようなことが必要だと思いますか？
(3つまで回答)



○ 18歳以上では、「特にない」と回答した人が最も多く、次いで「何でも相談できる窓口をもっと多くもって使いやすくする」、「在宅での生活が介助しやすいサービスを増やす」の順に、回答した割合が高くなっている。

【その他のご意見】

- 福祉サービスや事業所についての情報を積極的に発信してほしい。
- 企業に障がい者雇用を理解してほしい。
- 障がい者でも働きやすい環境を整える。(例)時間にとらわれず在宅勤務
- 配食サービス、洗濯支援、入浴介助、就寝介助、パソコン不具合サポートなどが得られれば、1人でも生活可能。
- 家族と一緒に介護を受けながら生活できる場所が欲しい。
- 障がいの程度にかかわらず医療支援を増やして欲しい。

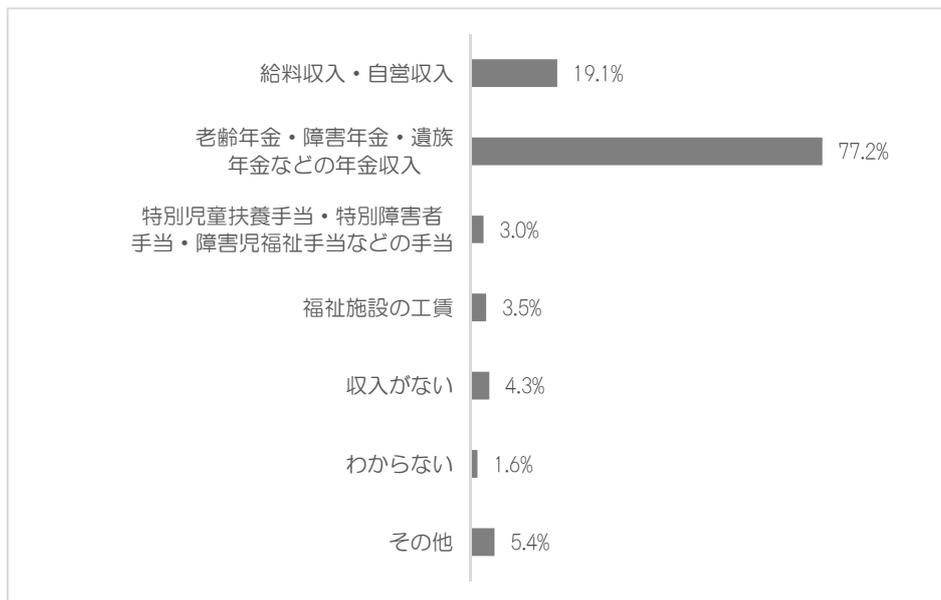
手帳別(複数回答)	身体	療育	精神
グループホームなどの住む場所を増やす	6.7%	25.2%	12.1%
在宅での生活が介助しやすいサービスを増やす	17.4%	10.9%	12.1%
仕事につくための訓練や働く場所を増やす	4.3%	15.1%	27.3%
日中、通うことができる施設を充実する	9.3%	18.5%	15.9%
医療的ケアのサービスを充実する	11.9%	10.1%	11.4%
施設等において短期入所できるサービスを増やす	5.5%	12.6%	7.6%
参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動を増やす	8.4%	13.4%	14.4%
何でも相談できる窓口をもっと多くもっと使いやすくする	15.6%	20.2%	28.8%
車いす・補聴器などの福祉機器を充実する	10.5%	0.8%	1.5%
障がいがあってもなくても住民同士がふれあえる機会や場を増やす	11.5%	10.1%	11.4%
移動支援を充実する	12.7%	14.3%	10.6%
差別や偏見をなくすため学びの場やお知らせを増やす	4.9%	16.0%	22.0%
特にない	27.6%	20.2%	18.9%
わからない	9.7%	11.8%	12.1%
その他	3.0%	4.2%	4.5%

- 身体障害者手帳所持者では、「特にない」に次いで、「在宅での生活が介助しやすいサービスを増やす」、「何でも相談できる窓口をもっと多くもっと使いやすくする」の順に、回答した割合が高くなっている。
- 療育手帳所持者では、「グループホームなどの住む場所を増やす」、「何でも相談できる窓口をもっと多くもっと使いやすくする」の順に、回答した割合が高くなっている。
- 精神障害者保健福祉手帳所持者では、「何でも相談できる窓口をもっと多く、もっと使いやすくする」、「仕事につくための訓練や働く場所を増やす」、「差別や偏見をなくすため学びの場やお知らせを増やす」の順に、回答した割合が高くなっている。

身体障がい(障がい部位)複数回答	視覚	聴覚・平衡	音声・言語	肢体	内部
グループホームなどの住む場所を増やす	10.5%	5.4%	2.6%	7.8%	5.3%
在宅での生活が介助しやすいサービスを増やす	29.8%	16.2%	18.4%	18.4%	15.3%
仕事につくための訓練や働く場所を増やす	3.5%	2.7%	7.9%	4.6%	3.5%
日中、通うことができる施設を充実する	15.8%	11.7%	5.3%	10.8%	7.2%
医療的ケアのサービスを充実する	14.0%	10.8%	7.9%	11.7%	13.7%
施設などにおいて短期入所できるサービスを増やす	5.3%	3.6%	2.6%	6.5%	5.3%
参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動を増やす	3.5%	9.9%	2.6%	8.5%	7.2%
何でも相談できる窓口をもっと多くもっと使いやすくする	15.8%	11.7%	13.2%	18.0%	12.3%
車いす・補聴器などの福祉機器を充実する	12.3%	32.4%	13.2%	10.0%	7.9%
障がいがあってもなくても住民同士がふれあえる機会や場を増やす	10.5%	13.5%	5.3%	12.2%	10.0%
移動支援を充実する	19.3%	9.9%	13.2%	14.5%	11.3%
差別や偏見をなくすため学びの場やお知らせを増やす	8.8%	8.1%	7.9%	5.2%	4.6%
特にない	15.8%	19.8%	18.4%	23.9%	33.1%
わからない	14.0%	13.5%	10.5%	8.5%	9.0%
その他	3.5%	1.8%	0.0%	3.9%	2.5%

- 視覚障がい、音声・言語障がいのある身体障害者手帳所持者では、「在宅での生活が介助しやすいサービスを増やす」と回答した割合が最も高くなっている。
- 聴覚障がいのある身体障害者手帳所持者では、「車いす・補聴器などの福祉機器を充実する」と回答した割合が最も高くなっている。
- 肢体不自由のある身体障害者手帳所持者では、「特にない」に次いで、「在宅での生活が介助しやすいサービスを増やす」、「何でも相談できる窓口をもっと多くもっと使いやすくする」と回答した割合が高くなっている。
- 内部障がいのある身体障害者手帳所持者では、「特にない」に次いで、「在宅での生活が介助しやすいサービスを増やす」と回答した割合が最も高くなっている。

あなたの生活を支えている収入は何ですか？(複数回答)

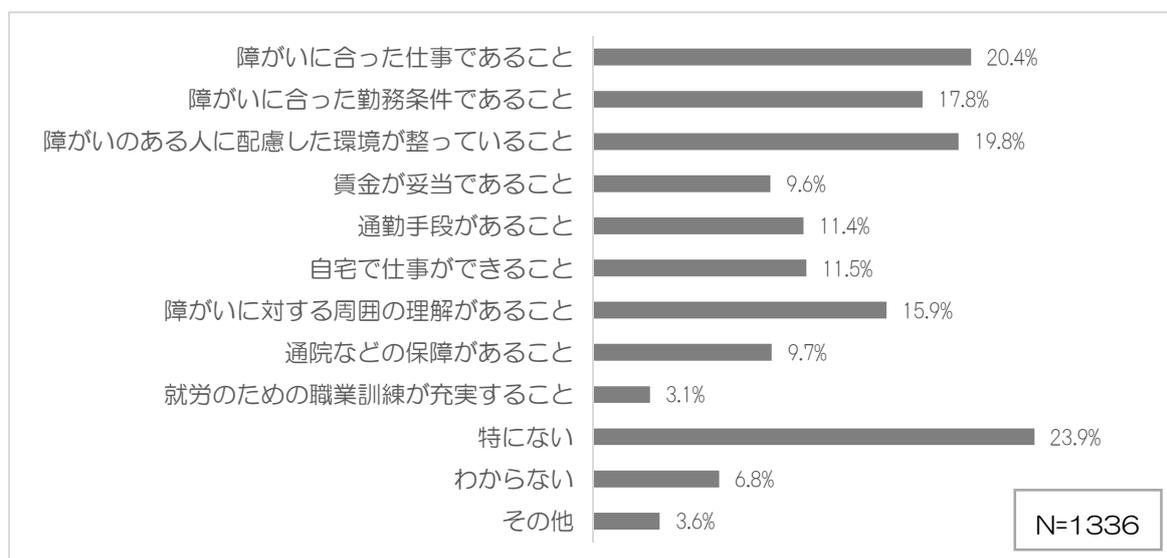


○ 「年金収入」の割合が圧倒的に高く、次いで「給料収入・自営収入」となっている。

【その他の主な回答】

- 家族の収入
- 家族・親族からの援助
- 預貯金
- 傷病給付金
- 入院時の保険給付金
- 生活保護
- 失業保険
- 不動産収入

あなたが働くために必要だと思うこと、今、働いていない人は、こんなことがあれば働けると思うことは何ですか？(3つまで選択)



【その他の主な回答】

- 熟練したスタッフが揃っていること。
- 技術があっても障がい者枠にされ不当に安い給与である。
- 高齢で働けない、働く意欲がない。

手帳別(複数回答)	身体	療育	精神
障がいを持った仕事であること	17.0%	48.7%	28.8%
障がいを持った勤務条件であること	15.0%	31.1%	31.8%
障がいのある人に配慮した環境が整っていること	15.5%	45.4%	34.8%
賃金が妥当であること	7.8%	16.8%	20.5%
通勤手段があること	9.2%	17.6%	24.2%
自宅で仕事ができること	11.4%	4.2%	18.2%
障がいに対する周囲の理解があること	12.5%	31.9%	31.8%
通院などの保障があること	9.8%	2.5%	15.9%
就労のための職業訓練が充実すること	1.9%	6.7%	8.3%
特になし	27.1%	9.2%	10.6%
わからない	6.2%	11.8%	6.1%
その他	3.5%	1.7%	7.6%

- 身体障害者手帳所持者では、「特になし」に次いで、「障がいを持った仕事であること」、「障がいを持った勤務条件であること」、「障がいのある人に配慮した環境が整っていること」の順に、回答した割合が高くなっている。
- 療育手帳所持者では、「障がいを持った仕事であること」、「障がいのある人に配

慮した環境が整っていること」、「障がいにあった勤務条件であること」、「障がいに対する周囲の理解があること」の順に、回答した割合が高くなっている。

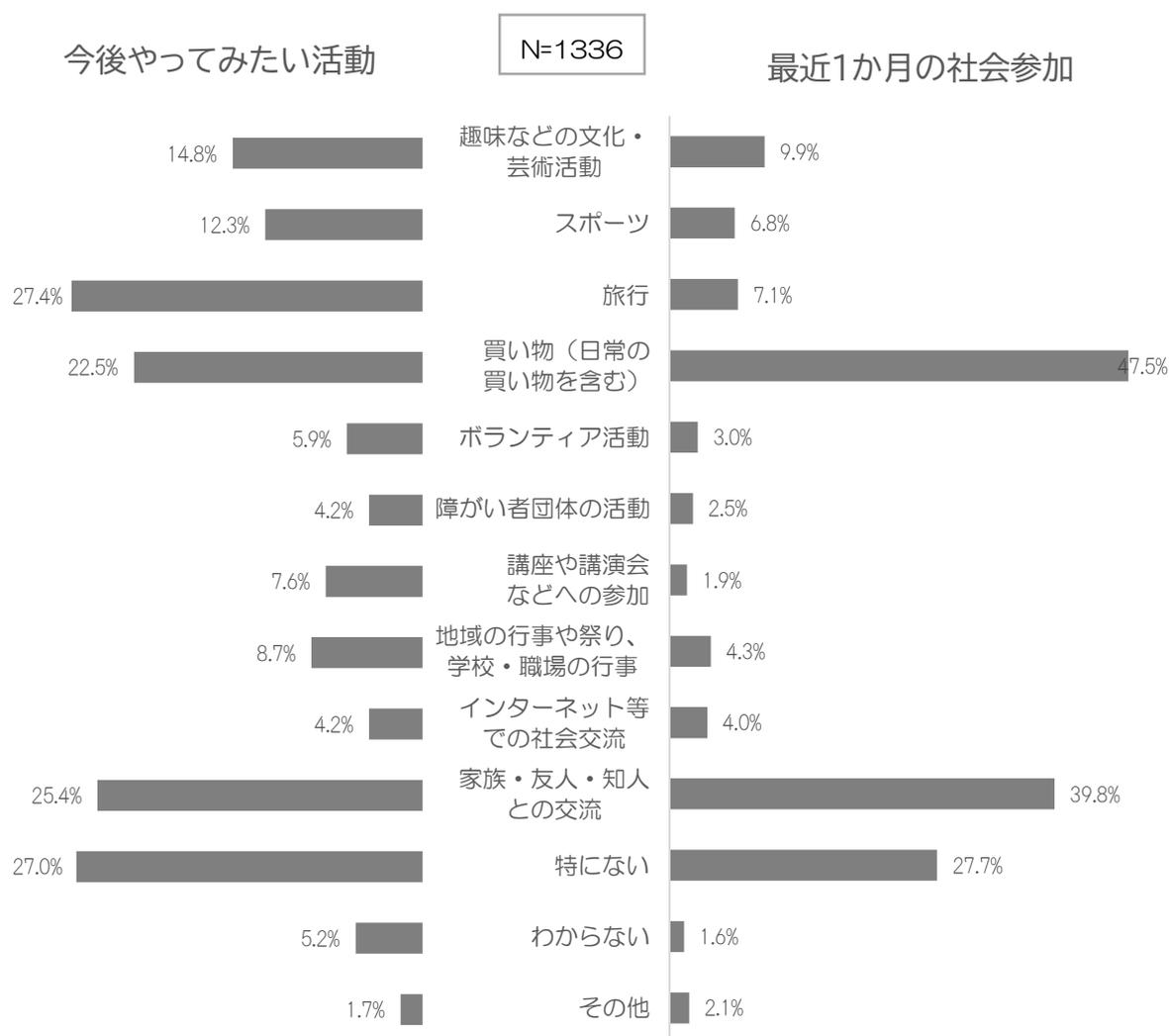
- 精神障害者保健福祉手帳所持者では、「障がいのある人に配慮した環境が整っていること」、「障がいにあった勤務条件であること」、「障がいに対する周囲の理解があること」の順に、回答した割合が高くなっている。

身体障がい部位別(複数回答)	視覚	聴覚・平衡	音声・言語	肢体	内部
障がいにあった仕事であること	10.5%	20.7%	15.8%	18.0%	25.0%
障がいにあった勤務条件であること	7.0%	7.2%	18.4%	15.6%	18.8%
障がいのある人に配慮した環境が整っていること	12.3%	27.0%	10.5%	16.7%	26.2%
賃金が妥当であること	7.0%	9.0%	10.5%	6.9%	11.3%
通勤手段があること	12.3%	8.1%	7.9%	11.1%	14.8%
自宅で仕事ができること	8.8%	3.6%	7.9%	13.2%	16.9%
障がいに対する周囲の理解があること	14.0%	25.2%	10.5%	12.2%	21.8%
通院などの保障があること	7.0%	3.6%	5.3%	8.3%	14.4%
就労のための職業訓練が充実すること	5.3%	2.7%	0.0%	2.4%	3.5%
特になし	28.1%	27.9%	26.3%	23.6%	27.3%
わからない	5.3%	5.4%	5.3%	6.1%	8.6%
その他	3.5%	2.7%	2.6%	4.3%	4.4%

- 視覚障がいのある身体障害者手帳所持者では、「障がいに対する周囲の理解があること」、「障がいのある人に配慮した環境が整っていること」、「通勤手段があること」の順に、回答した割合が高くなっている。
- 聴覚・平衡障がいのある身体障害者手帳所持者では、「障がいのある人に配慮した環境が整っていること」、「障がいに対する周囲の理解があること」、「障がいにあった仕事であること」の順に、回答した割合が高くなっている。
- 音声・言語障がいのある身体障害者手帳所持者では、「障がいにあった勤務条件であること」、「障がいにあった仕事であること」の順に、回答した割合が高くなっている。
- 肢体不自由のある身体障害者手帳所持者では、「障がいにあった仕事であること」、「障がいのある人に配慮した環境が整っていること」の順に、回答した割合が高くなっている。
- 内部障がいのある身体障害者手帳所持者では、「障がいのある人に配慮した環境が整っていること」、「障がいにあった仕事であること」の順に、回答した割合が高くなっている。

(3) 社会参加について

あなたが最近1か月間に行った社会参加は何ですか？また、今後やってみたい活動は何ですか？(複数回答)



- 最近1か月間の社会参加では、「買い物」、「家族・友人・知人との交流」、「特にない」の順に、回答した割合が高くなっている。
- 今後やってみたい活動を見ると、「旅行」「特にない」「家族・友人・知人との交流」、「買い物」の順に、回答した割合が高くなっている。
- その他の意見には、新型コロナウイルスの影響により、活動が中止されたり、(外出を)躊躇してしまうといった意見が多く見られた。

今後やってみたい活動 手帳別(複数回答)	身体	療育	精神
趣味などの文化・芸術活動	13.6%	17.6%	24.2%
スポーツ	10.3%	11.8%	28.0%
旅行	28.1%	28.6%	24.2%
買い物(日常の買い物を含む)	20.7%	30.3%	31.1%
ボランティア活動	6.4%	4.2%	4.5%
障がい者団体の活動	3.8%	6.7%	6.1%
講座や講演会などへの参加	7.4%	4.2%	11.4%
地域の行事や祭り、学校・職場の行事	7.5%	21.0%	12.1%
インターネット等での社会交流	3.4%	5.0%	11.4%
家族・友人・知人との交流	24.9%	27.7%	30.3%
特にない	28.7%	16.8%	22.0%
わからない	3.6%	18.5%	5.3%
その他	1.3%	1.7%	5.3%

- 身体障害者手帳所持者では、「特にない」に次いで、「旅行」、「家族・友人・知人との交流」の順に、回答した割合が高くなっている。
- 療育手帳所持者では、「買い物」、「旅行」の順に、回答した割合が高くなっている。
- 精神障害者保健福祉手帳所持者では、「買い物」、「家族・友人・知人との交流」、「スポーツ」の順に、回答した割合が高くなっている。

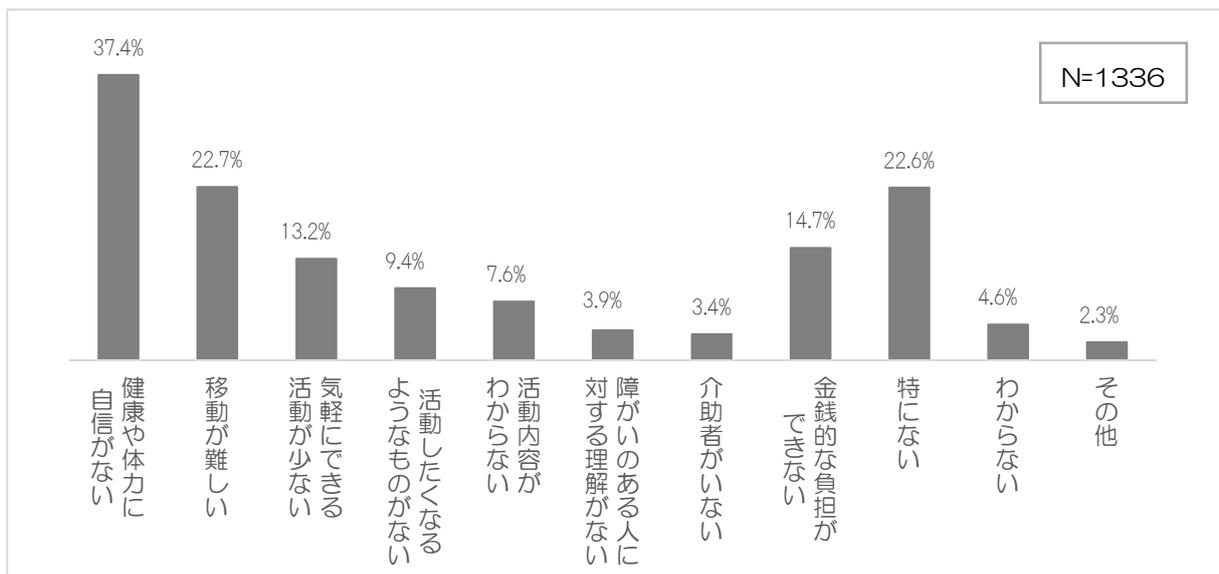
今後やってみたい活動 身体障がい部位別(複数回答)	視覚	聴覚・平衡	音声・言語	肢体	内部
趣味などの文化・芸術活動	8.8%	16.2%	5.3%	15.8%	10.4%
スポーツ	10.5%	10.8%	5.3%	10.0%	8.3%
旅行	22.8%	22.5%	18.4%	28.6%	28.2%
買い物(日常の買い物を含む)	14.0%	25.2%	15.8%	21.3%	19.2%
ボランティア活動	7.0%	3.6%	0.0%	7.4%	4.6%
障がい者団体の活動	7.0%	6.3%	5.3%	4.6%	1.6%
講座や講演会などへの参加	1.8%	8.1%	2.6%	9.6%	5.6%
地域の行事や祭り、学校・職場の行事	1.8%	11.7%	10.5%	8.9%	4.9%
インターネット等での社会交流	1.8%	1.8%	5.3%	4.8%	2.5%
家族・友人・知人との交流	24.6%	28.8%	13.2%	25.2%	25.5%
特にない	31.6%	28.8%	31.6%	26.5%	30.8%
わからない	1.8%	5.4%	5.3%	3.3%	3.2%
その他	0.0%	2.7%	2.6%	1.3%	1.2%

- 視覚障がいのある身体障害者手帳所持者では、「特にない」に次いで、「家族・友人・知人との交流」、「旅行」の順に、回答した割合が高くなっている。
- 聴覚・平衡障がいのある身体障害者手帳所持者では、「特にない」に次いで、「家

族・友人・知人との交流」、「買い物」の順に、回答した割合が高くなっている。

- 音声・言語障がいのある身体障害者手帳所持者では、「特にない」に次いで、「旅行」、「買い物」の順に、回答した割合が高くなっている。
- 肢体不自由、内部障がいのある身体障害者手帳所持者では、「特にない」に次いで、「旅行」、「家族・友人・知人との交流」の順に、回答した割合が高くなっている。

あなたが活動を行う上での問題点がありますか？(3つまで選択)



- 「健康や体力に自信がない」、「移動が難しい」と回答した割合が高くなっている。

【その他の主な回答】

- 車いすや車いす用のトイレが少ない
- 新型コロナウイルスの感染が怖い
- 他の人の重荷になりたくない
- 社会交流はしたいが人が苦手
- コミュニケーションが取れない

活動を行う上での問題点 手帳別(複数回答)	身体	療育	精神
健康や体力に自信がない	39.5%	12.6%	44.7%
移動が難しい	23.5%	18.5%	19.7%
気軽にできる活動が少ない	13.0%	16.0%	12.9%
活動したくなるようなものがない	8.5%	7.6%	17.4%
活動内容がわからない	7.1%	10.1%	10.6%
障がいのある人に対する理解がない	2.5%	7.6%	13.6%
介助者がいない	3.3%	8.4%	0.8%
金銭的な負担ができない	13.7%	12.6%	26.5%
特になし	23.0%	21.0%	21.2%
わからない	3.0%	16.8%	6.8%
その他	2.2%	6.7%	0.8%

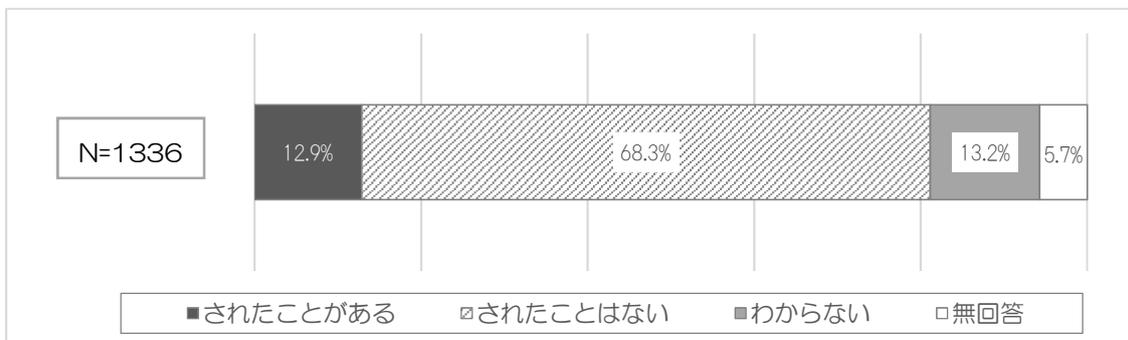
- 身体障害者手帳所持者では、「健康や体力に自信がない」、「移動が難しい」の順に、回答した割合が高くなっている。
- 療育手帳所持者では、「移動が難しい」、「気軽にできる活動が少ない」の順に、回答した割合が高くなっている。
- 精神障害者保健福祉手帳所持者では、「健康や体力に自信がない」、「金銭的な負担ができない」の順に、回答した割合が高くなっている。

活動を行う上での問題点 身体障がい部位別(複数回答)	視覚	聴覚・平衡	音声・言語	肢体	内部
健康や体力に自信がない	24.6%	34.2%	36.8%	38.6%	45.8%
移動が難しい	35.1%	10.8%	31.6%	28.0%	22.0%
気軽にできる活動が少ない	10.5%	73.0%	5.3%	15.0%	12.7%
活動したくなるようなものがない	5.3%	0.0%	2.6%	8.5%	8.6%
活動内容がわからない	1.8%	0.0%	5.3%	9.3%	4.4%
障がいのある人に対する理解がない	3.5%	5.4%	2.6%	2.4%	1.4%
介助者がいない	5.3%	0.0%	2.6%	4.3%	2.1%
金銭的な負担ができない	10.5%	0.0%	13.2%	14.8%	16.0%
特になし	15.8%	0.0%	23.7%	21.7%	20.1%
わからない	1.8%	0.0%	0.0%	2.8%	2.8%
その他	0.0%	0.0%	2.6%	1.9%	3.7%

- 視覚障がいのある身体障害者手帳所持者では、「移動が難しい」、「健康や体力に自信がない」の順に、回答した割合が高くなっている。
- 聴覚・平衡障がいのある身体障害者手帳所持者では、「気軽にできる活動が少ない」、「健康や体力に自信がない」の順に、回答した割合が高くなっている。
- 音声・言語障がい、肢体不自由、内部障がいのある身体障害者手帳所持者では、「健康や体力に自信がない」、「移動が難しい」の順に、回答した割合が高くなっている。

(4) 理解の促進、差別の解消について

日常生活において、障がいがあるために差別や偏見を受けたり、嫌がらせをされたり、仲間はずれにされたことがありますか？



手帳別(複数回答)	身体	療育	精神
されたことがある	10.3%	32.2%	28.1%
されたことはない	79.2%	38.1%	42.2%
わからない	10.5%	29.7%	29.7%

- 身体障害者手帳所持者では、されたことがある割合は1割となっている。
- 療育手帳、精神障害者保健福祉手帳所持者では、されたことがある割合は約3割となっている。

身体障がい部位別(複数回答)	視覚	聴覚・平衡	音声・言語	肢体	内部
されたことがある	17.3%	13.3%	15.6%	11.1%	8.4%
されたことはない	69.2%	73.5%	68.8%	77.1%	82.9%
わからない	13.5%	13.3%	15.6%	11.7%	8.7%

- 障がい部位別では、されたことがあると回答した割合が、「視覚・平衡障がい」「音声・言語障がい」「聴覚障がい」の順に、高くなっている。

「されたことがある」と回答した方に伺います。
 どこで、誰から、何をされましたか？(複数回答)

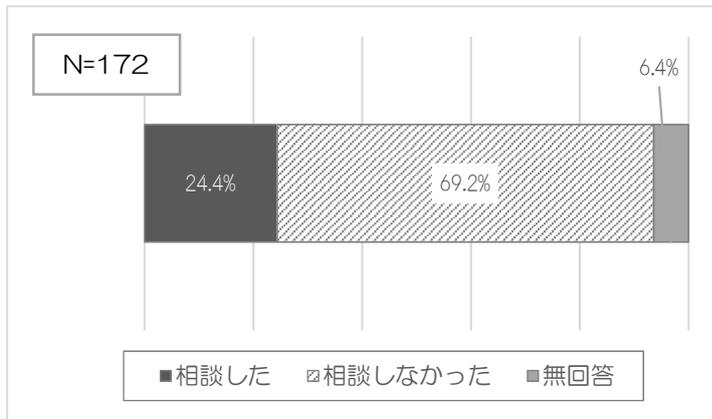
【上位の回答】

	順位	項目	回答割合
どこで	1位	保育所・幼稚園・学校	29.1%
	2位	職場	29.1%
	3位	交通機関	18.0%
誰から	1位	友人・知人	30.2%
	2位	知らない人	24.4%
	3位	客・利用者	19.2%
何を	1位	嫌なことを言われた	62.2%
	2位	嫌な態度をとられた	51.7%
	3位	嫌な目で見られた	37.2%

【その他の回答】

誰から	何を
<ul style="list-style-type: none"> ● 職場の上司、同僚、部下 ● 医師、病院の職員 ● 交通機関の運転手 ● 上級生・下級生 	<ul style="list-style-type: none"> ● 仕事をさせてくれない ● 必要のない手帳の番号を聞かれた ● 精神障がいのある人にだけ交通費助成がない ● 人工肛門でズボンの膨らみがあったのを不審がられ、見せなくてはいけなかった ● 乗車拒否 ● 下車する際に時間がかかり、降りたとたん発車された

差別や偏見、嫌がらせや仲間はずれなどをされた時、どこかに相談しましたか？
(複数回答)

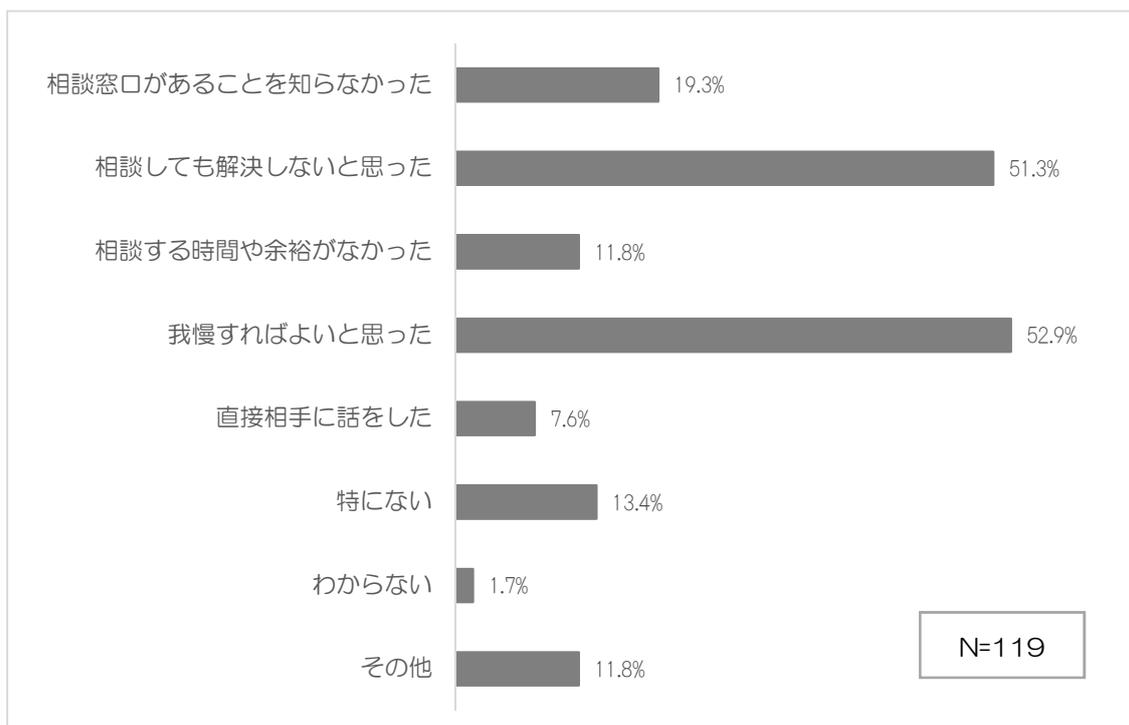


○「相談しなかった」と回答した割合は約7割となっている。

【主な相談先】

- 相談支援事業所
- 両親
- 医療機関
- ハローワーク
- 労働基準監督署
- 警察

【相談しなかった理由】



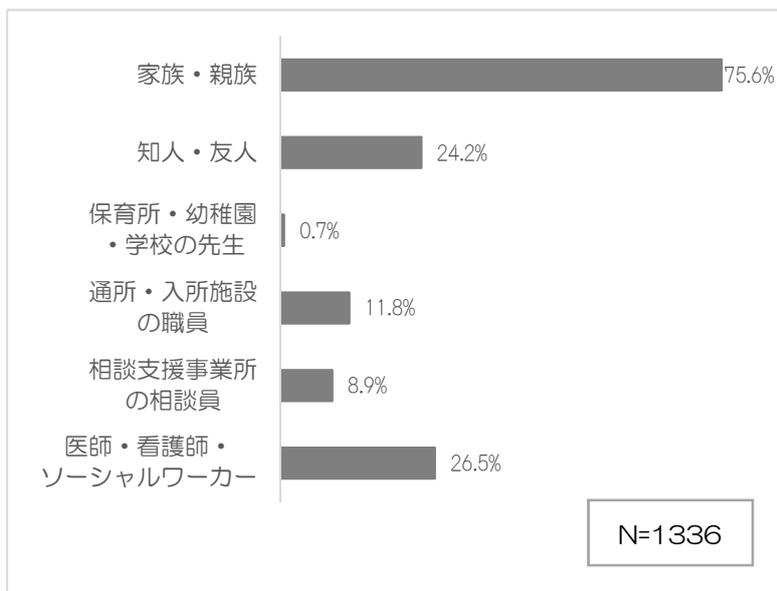
【その他の主な理由】

- 相談すればそれを弱みにとられてさらに傷をつけられる。
- 会社を退職した。
- 自分が悪いと思った。
- 相談することで大事になり障がいがあることを知られてしまう恐れがあるから。
- 知的な問題から本人自身では相談できる手段がない。
- 表現の方法がわからなく相談できなかった。

(5) 相談・情報の入手について

あなたが相談する人は、どなたですか？(複数回答)

※上位のみ掲載

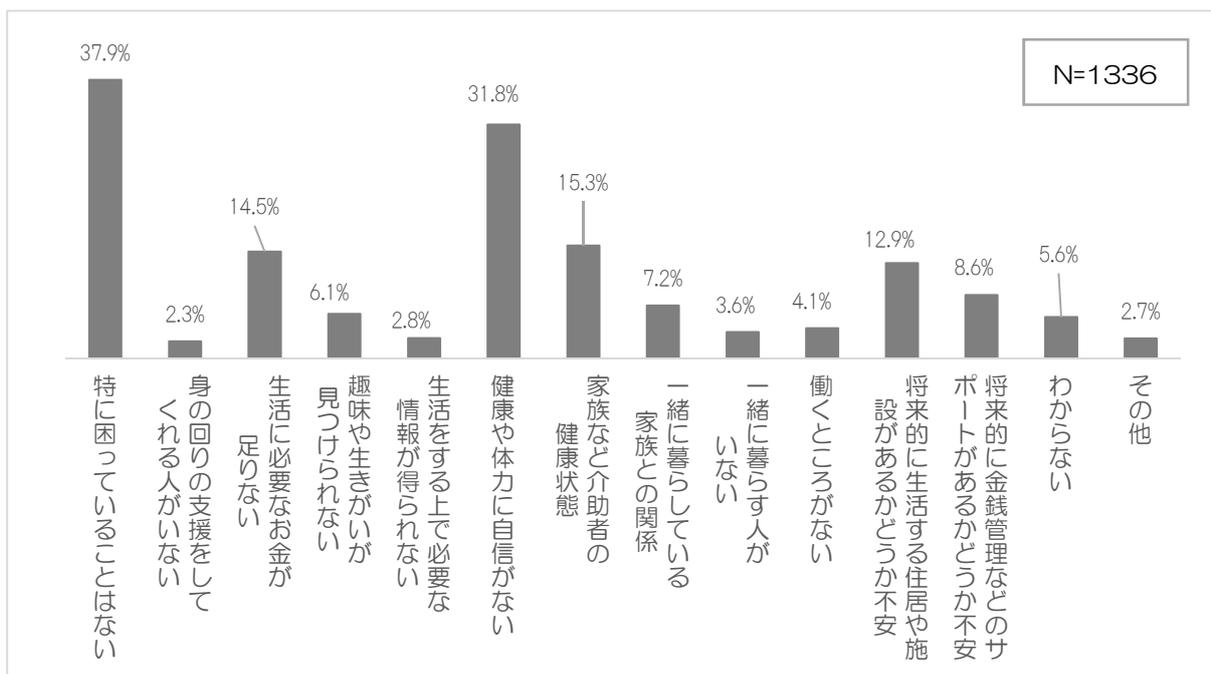


○「家族・親族」や「知人・友人」に相談する割合が高い。

【その他の回答】

- ケアマネージャー
- 市相談支援センターの職員
- 専任手話通訳者
- 勤務先の上司
- 士業の人

あなたが現在の生活で困っていることや不安に思っていることはありますか？(複数回答)



【その他の主な回答】

- 車を運転できなければ、どこへも行けない。
- 病院に一人では行けないことが不安。
- 年齢とともに運転できるかどうか不安。
- 災害の避難対策。
- 自分を理解してくれる存在。
- 他人の目や障がいに対する理解のない言葉が辛い。

手帳別(複数回答)	身体	療育	精神
特に困っていることはない	41.8%	21.8%	18.9%
身の回りの支援をしてくれる人がいない	2.2%	3.4%	2.3%
生活に必要なお金が足りない	13.0%	10.1%	34.1%
趣味や生きがいが見つけられない	4.9%	9.2%	15.2%
生活をする上で必要な情報が得られない	2.2%	5.9%	6.1%
健康や体力に自信がない	32.2%	16.0%	45.5%
家族など介助者の健康状態	14.3%	23.5%	18.9%
一緒に暮らしている家族との関係	5.9%	6.7%	18.2%
一緒に暮らす人がいない	3.6%	2.5%	4.5%
働くところがない	3.3%	4.2%	11.4%
将来的に生活する住居や施設があるかどうか不安	10.4%	23.5%	28.0%
将来的に金銭管理や契約などのサポートをしてくれる人がいるかどうか不安	5.6%	24.4%	22.7%
わからない	3.7%	20.2%	6.1%
その他	2.3%	2.5%	6.1%

- 身体障害者手帳所持者では、「特に困っていることはない」、「健康や体力に自信がない」の順に、回答した割合が高くなっている。
- 療育手帳所持者では、「家族など介助者の健康状態」、「将来的に生活する住居や施設があるかどうか不安」、「将来的に金銭管理や契約などのサポートをしてくれる人がいるかどうか不安」の順に、回答した割合が高くなっている。
- 精神障害者保健福祉手帳所持者では、「健康や体力に自信がない」、「生活に必要なお金が足りない」の順に、回答した割合が高くなっている。

身体障がい部位別(複数回答)	視覚	聴覚・平衡	音声・言語	肢体	内部
特に困っていることはない	24.6%	46.8%	26.3%	37.3%	44.2%
身の回りの支援をしてくれる人がいない	1.8%	0.0%	0.0%	2.2%	2.1%
生活に必要なお金が足りない	10.5%	10.8%	10.5%	13.4%	13.2%
趣味や生きがいが見つけれない	10.5%	5.4%	7.9%	5.6%	4.4%
生活をする上で必要な情報が得られない	3.5%	3.6%	5.3%	2.4%	1.4%
健康や体力に自信がない	33.3%	21.6%	18.4%	31.4%	38.2%
家族など介助者の健康状態	26.3%	9.0%	21.1%	16.0%	14.1%
一緒に暮らしている家族との関係	7.0%	2.7%	7.9%	7.1%	5.8%
一緒に暮らす人がいない	0.0%	2.7%	0.0%	3.5%	3.9%
働くところがない	5.3%	0.9%	10.5%	4.5%	2.3%
将来的に生活する住居や施設があるかどうか不安	15.8%	8.1%	5.3%	13.2%	9.3%
将来的に金銭管理や契約などのサポートをしてくれる人がいるかどうか不安	8.8%	2.7%	2.6%	6.9%	5.3%
わからない	5.3%	5.4%	10.5%	3.0%	1.9%
その他	3.5%	1.8%	2.6%	2.6%	1.4%

- 視覚障がいのある身体障害者手帳所持者では、「健康や体力に自信がない」、「家族など介助者の健康状態」の順に、回答した割合が高くなっている。
- 聴覚・平衡障がい、肢体不自由、内部障がいのある身体障害者手帳所持者では、「特に困っていることはない」、「健康や体力に自信がない」の順に、回答した割合が高くなっている。
- 音声・言語障がいのある身体障害者手帳所持者では、「特に困っていることはない」、「家族など介助者の健康状態」の順に、回答した割合が高くなっている。

あなたが情報を入力したり、コミュニケーションをする上で配慮してほしいことはありますか？(3つまで選択可)

項目	回答割合
さまざまな媒体(音声、点字、テキストデータなど)で提供してほしい	3.7%
パンフレットやホームページなど、文字の大きさや色の使い方に配慮してほしい	6.4%
問合せ先は電話番号だけではなく、ファックスやメールアドレスも載せてほしい	5.6%
手話、筆談で対応できる人を増やしてほしい	1.7%
わかりやすい文言・ルビ・表現・絵文字を使用してほしい	7.0%
動画などを使ってわかりやすい資料を作成してほしい	4.9%
情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい	16.0%
特にない	43.6%
わからない	11.4%
その他	1.3%

【その他の主な回答】

- 現在は大丈夫だが将来的には不安。
- 高齢になると聞き取りが悪くなり、また、眼も悪くなるので、文字は大きめに音声は高めにしたい。
- 福祉の情報をもっとわかりやすく発信してほしい。
- カタカナ、略語が多く混乱する(オンライン、ホームステイ、ウェブ、ダウンロード)。
- パソコンが使えない人、スマホを持っていない人のための支援。

手帳別(複数回答)	身体	療育	精神
さまざまな媒体(音声、点字、テキストデータなど)で提供してほしい	3.4%	3.4%	5.3%
パンフレットやホームページなど、文字の大きさや色の使い方に配慮してほしい	6.8%	3.4%	5.3%
問合せ先は電話番号だけではなく、ファックスやメールアドレスも載せてほしい	5.3%	5.0%	9.8%
手話、筆談で対応できる人を増やしてほしい	1.7%	0.8%	2.3%
わかりやすい文言・ルビ・表現・絵文字を使用してほしい	5.7%	18.5%	8.3%
動画などを使ってわかりやすい資料を作成してほしい	3.6%	16.8%	6.8%
情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい	14.0%	33.6%	21.2%
特になし	46.5%	22.7%	35.6%
わからない	9.9%	18.5%	15.2%
その他	1.2%	2.5%	1.5%

- 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳所持者では、「情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい」回答した割合が1番高くなっている。
- 療育手帳所持者では、「情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい」、「わかりやすい文言・ルビ・表現・絵文字を使用してほしい」の順に、回答した割合が高くなっている。

身体障がい部位別(複数回答)	視覚	聴覚・平衡	音声・言語	肢体	内部
さまざまな媒体(音声、点字、テキストデータなど)で提供してほしい	10.5%	7.2%	0.0%	3.0%	2.3%
パンフレットやホームページなど、文字の大きさや色の使い方に配慮してほしい	17.5%	4.5%	2.6%	6.9%	5.6%
問合せ先は電話番号だけではなく、ファックスやメールアドレスも載せてほしい	3.5%	12.6%	7.9%	4.6%	3.7%
手話、筆談で対応できる人を増やしてほしい	0.0%	12.6%	2.6%	0.7%	0.5%
わかりやすい文言・ルビ・表現・絵文字を使用してほしい	5.3%	8.1%	2.6%	4.8%	5.3%
動画などを使ってわかりやすい資料を作成してほしい	3.5%	1.8%	0.0%	5.4%	2.8%
情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい	26.3%	17.1%	13.2%	14.5%	11.8%
特にない	19.3%	29.7%	31.6%	45.6%	53.0%
わからない	15.8%	11.7%	18.4%	10.4%	7.2%
その他	1.8%	2.7%	2.6%	1.5%	0.5%

- 視覚障がいのある身体障害者手帳所持者では、「情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい」、「パンフレットやホームページなど、文字の大きさや色の使い方に配慮してほしい」、「さまざまな媒体(音声、点字、テキストデータなど)で提供してほしい」の順に、回答した割合が高くなっている。
- 聴覚・平衡障がいのある身体障害者手帳所持者では、「特にない」に次いで、「情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい」、「問合せ先は電話番号だけではなく、ファックスやメールアドレスも載せてほしい」、「手話、筆談で対応できる人を増やしてほしい」の順に、回答した割合が高くなっている。
- 音声・言語障がいのある身体障害者手帳所持者では、「特にない」に次いで、「情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい」、「問合せ先は電話番号だけではなく、ファックスやメールアドレスも載せてほしい」の順に、回答した割合が高くなっている。
- 肢体不自由、内部障がいのある身体障害者手帳所持者では、「特にない」に次いで、「情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい」と回答した割合が最も高くなっている。

(6) 障がい者施策全般について

石狩市の障がい者施策全般についてのご意見・ご要望

- 公共機関の乗り物の費用を免除してほしいです。
- 冬期、道路の除雪がされていないところがあり、転んで腰を痛めてしまった。
- 聴覚障がいのある人にとって、情報の入手、コミュニケーションにスマホは必要だが、料金が高すぎます。障がい者割引などを充実してほしいです。
- 障がい者施策は行われているのだと思いますが、なかなか個人レベルまで「どのような活動がされているか」が伝わってこない印象があります。
- こんな状況だと、人と関わるのがかえって危険な気がするので、人と関わらずに仕事できるかつ生活できる環境があったらいいなと思います。
- 自立支援医療制度利用で通院代の補助を受け、経済的に大変助かっています。
- バス代、タクシー代、ガソリン代などの交通費助成の増額について検討してほしい。
- 就労継続支援 A 型を増やしてほしい。
- 生活保護費の増額と、福祉補助券を使い全ての障がいのある人が普通にタクシーに乗れるようにしてほしい。
- 札幌市から石狩市に転居しましたが、障がいのある人に対するサービスが、非常に悪いです。札幌市と同一のサービス充実を望みます。
- 通院などの交通手段を充実してもらえると、住みなれたところで生活できると思う。
- 障がいのある人の暮らしなど情報をもっと解りやすく提供してほしい。
- 認知防止のため、本をよく買うので少額でもお買物券があると助かります。
- プールの使用料が安くなるともう少し頑張ることができるのですが。
- うちの町内会の行事はあまり高齢者が参加できる行事がありません。今年はコロナで仕方ありませんが、コロナが無くなったときは高齢者が軽く参加できる行事を行ってほしい。
- 外出や移動に自家用車を利用しているので、そのためのガソリン代補助額を増額してほしい。車がないと外に出ることがなくなるので、ぜひ必要な費用として認めてほしい。
- 障がいの有無にかかわらず、住民が触れ合える場所が必要だと思う。何かの相談、サービス、ふれあいの場所に行くための移動支援も必要だと思います。
- 発達障がいに対する理解と支援を充実させて差別やイジメのない石狩市になってほしいです。
- 介助者の妻も持病があるため、医療費及び交通費で出費が多く家計が苦しい。障

がいのある人に対して生活に必要な電気、ガス、水道、灯油など割引をしてほしい。公共住宅の家賃の割引または無料にしてほしい。

- 市立病院の設置を希望する。石狩には病院がないため、札幌に出向かなければならない、不便さに不満を感じている。
- 毎年タクシー券をいただけてありがたいのですが、まだ父母が車の運転をして出かけることが多いので、このタクシー券分もガソリン代として使えるようにしていただけると助かります。
- 障がいのある人、一人ひとりの能力に合う職業を提供していただけたら嬉しいと思います。
- 少しでも多くの施設や少しでも安く入所できればありがたいです。
- 自分のような障がいを持っている方は薬を服用されていることも多いと思います。けど、多様な薬があるのでどの薬が自分に合うのか全く分かりません。薬についての詳しい資料があれば助かります。
- HPの利用が可能な家庭ばかりではないので、インターネット以外の入手方法も広めてほしい。
- 視覚障がいなので、通院は夫を頼っているが今後1人で行かなくてはならない場合、行くこと、診察時など、付き添っていただくことがあると思ひ、そのサポートをお願いしたい。
- 先般の地震の際も、一人暮らしの障がいのある人は誰にも会わず会話もなく本当に孤独で怖い思いをしました。声かけなどの策があればうれしいと思います。
- コロナウイルスの関連情報が少ないように思います。正しく早い情報を市民に知らせるのが行政の役目とっております。
- 町内会の声かけ運動はありがたいが、本人の状態(病気)がどのくらい正しく流れているのか不安である。憶測でプライバシーが流れることがこわい。人様に迷惑をかけない限りそっとしておいてほしい。
- 半年に1回程度、本人と市の担当者が直接面談して様子を確認する場を設け、問題を聞き出し、入所施設や就労先をコミュニケーションしてもらえるようにしてもらえると、親なき後も安心なのですが…。
- 緊急な時に対応できる事業所を増やしてほしい。
- 免許を返納すると、バス停が遠くて困る。買い物など、何らかの支援をしてほしい。
- 障がいのある人が市内で運動できる場が少ないように感じる。
- 働く場が石狩市内には少ないように思う。新しい場所を作りたいという申し出に建物などの提供を考えてほしい。
- 病院や大型スーパーの近くにバス停、花川に公衆浴場を作してほしい。
- ストーマと他の特定疾患もあり、医療費が高額となる。何か対策をしてほしい。
- 障がいのある人の目線になっていない施策が多いのではないかと、対応者は上から目線が多く、「やってやってる」という感じですが。対応者の教育が必要。

- 視力が悪くなり、市役所からの補助をうけ拡大読書機を購入することができ、とても助かっている。今後も補助用具などの情報と援助をお願いしたい。
- 石狩市の交通手段は主としてバスであるので、精神障害者保健福祉手帳の所持者でも、少しでもいいので助成してもらえると助かります。
- 受けられる支援(減免など)の申告をもっと簡略化してほしい。項目が多すぎて一つひとつ手続きするのが大変だと思います。
- 手動車いすを利用して買い物などに行きますが、道路状況、路上駐車、道路でのキャッチボール、ボール遊びなどスムーズに進行できないことがあります。建物だけではなく市民一人ひとりがバリアフリーを考えて欲しい。生きづらいまちだから外に出るのが億劫になってしまいます。
- 自動車税の減免の手続きをしたいが、どのようにしたらいいかわからない。障害年金が出ることも知らなかった。そういったことを教えてほしい。
- 石狩市役所にあるハローワークでは障がい者雇用の対応ができないと言われ、北区のハローワークまで行ったことがある。とても大変。この時点でハードルが高い
- 寝たきりなので、紙おむつ給付サービスはありがたいと思っています。
- 固定電話で情報がほしい。スマホ、パソコンがないため。
- タクシーチケット初乗り分1回につき1枚では使い道がない。24枚でも通院が多いので無理。ガソリン券も補助券ではなく、そのまま使用できるようにしてほしい。就労も在宅でできるものを斡旋してほしい。障害年金だけでは生活するのも辛く、働きたくても働けない状況です。
- 歳とともに脚が弱くなっているので、相談のできる専門の病院などの紹介や資料などを教えてもらいたい。リハビリなどの指導や筋力をつける方法なども教えてもらいたい。
- 障がいのある人、ない人に関係なく歩きやすい道路にしてほしい。路駐が多く取り締まりの強化などしてほしい。
- 障がいのある人が文化活動できる場所があればいい。
- 障がいのある人への差別のない社会になってほしい。現在の教育の場では普通級と支援級を分けているが、そのこと自体が差別だと思う。
- 市内の循環バスがあるとよいと思う(新港、厚田、浜益)。
- なぜ障がい者の就労支援は雇用されることが前提なのでしょうか。開業支援があってもいいと思います。
- もう少し障がいのある人に手厚い制度を作してほしい。その地域でも同じ制度にしてほしい。札幌市であることが石狩市にないなど。障がいの等級で受け入れないということもなくしてほしい。障がいのある人にやさしい市にしてほしいです。
- 重度知的障がいのある人が将来的に生活するグループホームや施設があるか不安。
- 高齢者だけではなく障がいのある人も除雪サービスを利用させてほしい。
- いろんな障がいがあることを早いうちから知る機会が増えたらいいなと思った(学校などで)。

- 市が障がいのある人のことを考え、こういったアンケートを実施してくれることをありがたいと思います。
- 障がいのあるすべての人にとって暮らしやすいまちになるよう心から願っています。